

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	運動発達支援スタジオ笑みりい～南花田		
○保護者評価実施期間	令和6年8月19日		～ 令和6年9月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	37	(回答者数) 29
○従業者評価実施期間	令和6年9月1日		～ 令和6年9月14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和6年10月30日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動のプログラムが固定化しないように空き時間を利用してチームで内容を考えています	感覚統合をベースとした運動プログラムではお子様の特性や性格などにも配慮し、様々な感覚を体感していただけるように種目を工夫し、また、利用児の課題や強みに合わせてその都度変えながらすすめています。また、利用日の様子を丁寧に伝えるようにしています。	より専門的な支援ができるように、研修会を企画したり参加するように努め、職員全員で共有していきます。
2	秀麗でその日の支援について丁寧に振り返りを行い、共有しているところ	自由時間は子どもたちが楽しく、発散できるような遊びを考え、職員やお友達とコミュニケーションをとれるように工夫しています。また、お子様に合わせた内容のプログラムを提供する時間を設けています。利用児の課題や強みに合わせてその都度変えながらすすめています。利用日の様子を保護者様に丁寧に伝えるようにしています。	事業所内で支援会議やケース会議を充実させたいき、他事業所との連携をしていきます。
3	お子様に寄り添って支援させていただくことで、楽しく安心して通っていただいていると思います	専門職会議を定期的に開催し、各店舗の保護者から相談を受けたことに対してどのように支援していくか話し合う機会を設けている。	専門職会議の内容を全店舗で共有し日々の支援が充実するようにしていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	お子様の安全確保に関して保護者様への周知が少し不足している	避難訓練の周知はできているが、実際に災害が起きた場合の送迎の確認や利用時に災害が起きた場合の避難所を保護者様に周知できていない。	・できるだけ早くお手紙を準備し配布する
2	研修に参加する機会がなかなか取れない	事業所全体で研修の機会を作っているが、外部の研修へは一部の職員しか受ける機会がなかなかとれない。	外部の研修に職員が積極的に参加できるように職員の体制を調整していく。
3	園や地域など他の子どもたちと活動する機会が持ちにくい	プログラムの時間が決まっておりなかなか難しい	地域の子どもやきょうだい児も一緒に参加できるようなイベントを考えていきます。